

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和01年12月19日

計画の名称	佐用町における循環のみちの実現 (3)												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)					重点配分対象の該当							
交付対象	佐用町												
計画の目標	施設を計画的に改築するとともに集合処理区域の統廃合、汚泥処理の集約化を図り汚水処理の効率化を図る。												
全体事業費 (百万円)	合計 (A+B+C+D)	1,926	A	1,926	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

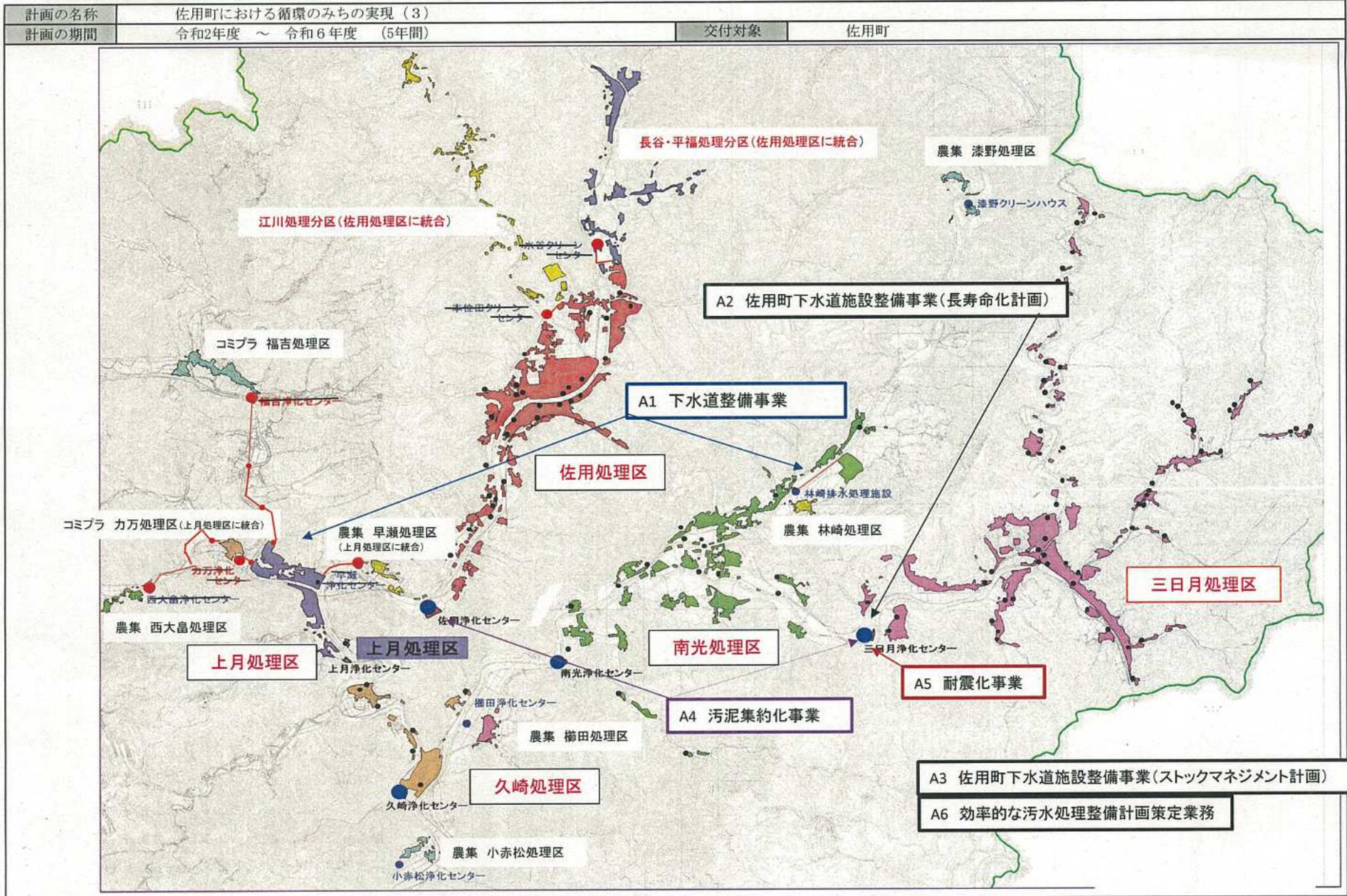
番号	計画の成果目標 (定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	・上月処理区に西大畠・早瀬地区(農集排施設)及びカワ・福吉地区(コミプラ)を統合し上月処理区の処理面積を拡大、南光処理区に林崎地区(農集排施設)を統合し南光処理区の処理面積を拡大する。 ・処理区統合区域実施率 統合完了面積 (ha) / 統合が必要な面積 (ha) (69.0ha)	55%	77%	100%
2	・三日月浄化センター、マンホールポンプ場の長寿命化計画による改築計画により計画的に施設の改築更新を実施し効率的な施設の維持管理を実施する。 ・浄化センター長寿命化計画による改築達成率 目標年次における改築済み施設数 / 改築すべき施設数 (2箇所)	25%	100%	100%
3	・佐用町の浄化センター、マンホールポンプ場のストックマネジメント計画による改築計画により計画的に施設の改築更新を実施し効率的な施設の維持管理を実施する。 ・浄化センターストックマネジメント計画による改築達成率 目標年次における改築済み施設数 / 改築すべき施設数 (5箇所)	0%	25%	75%
4	・三日月浄化センター及び佐用浄化センターに浄化槽汚泥等の受け入れのための前処理施設建設し効率的な汚泥処理を実現する。 ・汚泥集約化事業達成率 目標年次における汚泥集約時に係る前処理施設 (箇所) / 汚泥集約時に係る前処理施設 (箇所) (2箇所)	25%	75%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	佐用町	直接	佐用町	管渠(汚水)	新設	下水道整備事業	汚水管φ75~150mm L=5384m	佐用町	■	■	■	■	■	403		—
	A07-002	下水道	一般	佐用町	直接	佐用町	終末処理場	改築	佐用町下水道施設整備事業(長寿命化計画)	長寿命化計画による浄化センター、MP場整備	佐用町	■					196		—
	A07-003	下水道	一般	佐用町	直接	佐用町	終末処理場	改築	佐用町下水道施設整備事業(ストックマネジメント計画)	ストックマネジメント計画による浄化センター、MP場整備	佐用町	■	■	■	■	■	525		策定中
	A07-004	下水道	一般	佐用町	直接	佐用町	終末処理場	新設	汚泥集約化事業	前処理施設	佐用町	■	■	■	■		762		—
	A07-005	下水道	一般	佐用町	直接	佐用町	終末処理場	改築	耐震化事業	改築計画による整備	佐用町					■	20		—
	A07-006	下水道	一般	佐用町	直接	佐用町	—	—	効率的な汚水処理整備計画策定業務	整備計画策定業務	佐用町					■	■	20	

A 基幹事業																														
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況											
												R02	R03	R04	R05	R06														
		一体的に実施することにより期待される効果																												
		備考																												
																					小計						1,926			

水の安全・安心基盤整備



事前評価チェックシート

計画の名称： 佐用町における循環のみちの実現 (3)

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画等との整合性 1) 上位計画（総合計画、生活排水処理計画、都市計画等）との整合性が確保されている	○
I. 目標の妥当性 ①上位計画等との整合性 2) 下水道の諸計画（合流式下水道緊急改善計画等）との整合性が確保されている	
I. 目標の妥当性 ①上位計画等との整合性 3) 関連する諸計画（河川整備計画等）と整合性が確保されている	
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 2) 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と定量的指標の整合性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性 ④定量的指標の明瞭性 1) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている	○
II. 計画の効果・効率性 ⑤目標と事業内容の整合性 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。○	○
II. 計画の効果・効率性 ⑤目標と事業内容の整合性 2) 目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている	○
II. 計画の効果・効率性 ⑥事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。○	○
II. 計画の効果・効率性 ⑥事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。○	○
III. 計画の実現可能性 ⑦円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。○	○
III. 計画の実現可能性 ⑦円滑な事業執行の環境 2) 関連する関係機関等の調整が、図られている。○	○
III. 計画の実現可能性 ⑧地元の機運 1) 事業実施に向けた機運がある。○	○
III. 計画の実現可能性 ⑧地元の機運 2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。○	○